AIを使ったことを示す書き方（レポートの出典）

レポートで生成AIを使ったら、どのように書けばよいだろう

レポートの例（架空）

地域の川の水を調べる

2年1組　○○ ○○

1　調べたこと

川の水の汚れは、水にとけている物の量で表す [1]

市の調査では、川の水はきれいな状態が続いている [2]

2　調べる方法

調べる方法の候補（生成AIの答えを参考にし、
先生と相談して2つを選んだ）：水の色とにおい、
水にすむ生き物の観察 [3]

3　わかったこと・考えたこと（自分の考え）

出典（参考にしたもの）

[1] □□ □□『川と水のしくみ』△△出版、2024年

[2] ○○市「川の水質の調査結果」（2026年9月20日に見た）

[3] **生成AI「□□」（架空のサービス）**
指示：「中学生向けに、川の水の汚れを調べる方法を3つ挙げて」
使った日：2026年10月1日
答えは、〔1〕の本と先生の説明で確かめた

生成AIを使ったら、書く3つのこと

AI

1. **サービスの名前**
   どの生成AIを使ったか
2. **入力した指示**
   プロンプト。どうたずねたか
3. **使った日**
   いつ使ったか

本やウェブサイトと同じ

- 使ったところに印（〔3〕）を付ける
- 出典の欄に、どこから得たかを書く
- 自分の考えと、ほかから得たことを分ける

あわせて気をつけること

- AIの答えは、本や資料で確かめてから使う
- AIの文を、自分の文のように出さない
- やりとりの記録を求められたら付ける
- 書き方は、先生や学校の決まりに合わせる

※ 例は架空（サービスの名前・人の名前・資料・日付）。